

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン(2023)-5: 下腿潰瘍・下肢静脈瘤診療ガイドライン第3版

日本皮膚科学会/創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン策定委員会(下腿潰瘍・下肢静脈瘤グループ)
日本皮膚科学会雑誌 134 巻, 2 号

Minds 掲載 有

Grading Scale of Strength of Evidence

- A(強) 効果の推定値に強く確信がある
- B(中) 効果の推定値に中程度の確信がある
- C(弱) 効果の推定値に対する確信は限定的である
- D(とても弱い) 効果の推定値がほとんど確信できない

Grading Scale of Strength of Recommendation

- 行うことを推奨する(強い推奨)
- 行うことを提案する(弱い推奨)
- 行わないことを提案する(弱い推奨)
- 行わないことを推奨する(強い推奨)

■1 桂枝茯苓丸

疾患:

下肢静脈瘤に伴う自覚症状

引用など:

- 1)林忍, 渋谷慎太郎, 江川智久, ほか. 下肢静脈瘤に伴う不定愁訴に対する桂枝茯苓丸の臨床的有用性の検討. 静脈学 2013; 24: 303-10.
- 2)内田智夫. 下肢深部静脈血栓症の腫脹に対する桂枝茯苓丸の治療効果. 静脈学 2009; 20: 1-6.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『解説 7 併用療法』の項に以下の記載がある。

『主に自覚症状の改善の報告であるが、桂枝茯苓丸による治療報告や、桂枝茯苓丸、五苓散、柴苓湯の併用の報告がある』

■2 桂枝茯苓丸、五苓散、柴苓湯

疾患:

下肢静脈瘤に伴う自覚症状

引用など:

林忍. 下肢静脈瘤の自覚症状に対する漢方製剤 3 処方(桂枝茯苓丸, 五苓散, 柴苓湯)の治療効果. *日本東洋医学雑誌* 2015; 66: 278.

有効性に関する記載ないしその要約:

『解説 7 併用療法』の項に以下の記載がある。

『主に自覚症状の改善の報告であるが、桂枝茯苓丸による治療報告や、桂枝茯苓丸、五苓散、柴苓湯の併用の報告がある』

■3 芍薬甘草湯

疾患:

こむら返り

引用など:

林忍. 下肢静脈瘤に伴うこむら返りに対する芍薬甘草湯の臨床的有用性. *脈管学* 2016; 56S: 230.

有効性に関する記載ないしその要約:

『解説 7 併用療法』の項に以下の記載がある。

『中等度以上では合併しやすい「こむら返り」については、芍薬甘草湯での治療例の報告』